



相談センターだより

第32号 2023. 6. 発行

花言葉

「花言葉」は、植物の花や実などに与えられた、象徴的な意味をもつ言葉といわれています。花言葉の始まりは、17世紀頃のトルコです。トルコでは、「花に思いを託して相手に贈る」という風習があったそうです。

令和5年度より、大学の名称が「鹿児島純心大学」になり、大学院心理臨床相談センターのパンフレットも新しくなりました。その表紙に「カランコエ」のお花があります。

カランコエは、小さな星形の花が集まって咲く、かわいらしい花です。また、小さな釣鐘状の花を咲かせる種類があり、幸せを告げるベルを連想させることから「幸福を告げる」という花言葉がつけました。「あなたを守る」「幸福を告げる」「おおらかな心」といった素敵な花言葉が付けられています。集まって咲くカランコエの花姿に由来している花言葉です。

原産地の乾燥に対応するためカランコエは、肉厚な葉っぱに水を貯めこみ、他の植物よりも乾燥に耐えることができます。ワインを作るブドウ栽培の土壌も痩せた不毛の土地です。それには、ブドウの木の特性が関係しています。ブドウの木は、地中数メートルの奥深くまで根を伸ばし、地中に根をしっかりと張り巡らせることで、地中にあるさまざまな栄養を吸収し、ブドウの実に送るそうです。痩せた土地であるほどブドウの木は地中に深く根を張り巡らせるので、地中からミネラルなどの栄養を得ることができるのです。芳醇な味わいと香りのワインが想像できます。

『艱難汝を玉にす』という諺があります。人間は、しばしば悪条件の苦悩を通して、その価値観に目覚め、自己を実現していきます。苦悩とともに生きていく中に、精神的な豊かさと、自由を実現する人間の可能性があるように思います。人生の真実に気づくことができますように。

相談員 餅原 尚子

一口メモ

「食べることは生きることだもの」（ 柚木麻子『ランチのアッコちゃん』より ）

時々忙しさを理由に食事を疎かにしてしまうこともありますが、ゆっくり食事をして味わう時間を大事にしていきたいものです。

（ 紹介者： 相談員 笹川 裕美 ）

◆相談スタッフ◆ 令和5年5月現在

センター長	餅原 尚子	(本学大学院教授)
相談員	藤田千鶴子	(本学大学院教授)
	石井 洋平	(本学大学院准教授)
客員相談員	中村 誠文	(本学大学院准教授)
	笹川 裕美	(本学大学院助教)
	久留 一郎	(本学名誉教授)
	山本 英次	(池田病院非常勤医師)
	井上 賢人	(井上メンタルクリニック院長)
	関山 徹	(鹿児島大学教育学部准教授)
	中川 潔	(中川クリニック院長)
	小田奈緒美	(本学大学院非常勤講師)
	児玉 さら	(本学大学院非常勤講師)
	下津 玲子	(しもつ歯科医院臨床心理士)
研修相談員	久木崎由衣、神園彩華、岩切優実、川野佑	
大学院研修生	本学大学院心理臨床学専攻13名	

◆相談の種類と料金について◆

相談の種類	単位	料金
受理面接	1回	2,500円
臨床心理面接	1回	2,000円/人
こども心理面接	1回	1,500円/人
平行面接	1回	2,500円/組
集団心理面接	1回	1,500円/人
コンサルテーション	1回	1,500円/人
心理・発達査定面接	1回	2,000円/人
スーパーヴィジョン	1回	2,500円
予約料(当日のキャンセルの場合)	1回	500円

◆相談の申し込み◆

相談は有料で、全て予約制となっています。まずは、電話にてお申し込みください。
予約日時につきましては、後日、担当のものが電話にてお返事いたします。

住所 〒895-0011 鹿児島県薩摩川内市天辰町2365番地

鹿児島純心大学大学院 サンタマリア館1階 心理臨床相談センター

(※令和5年4月1日より、校名変更、男女共学化)

電話番号 0996-23-5385 (直通)

相談受付 月～金曜日(12時半～17時)

面接時間 月～金曜日(9時～17時)